

「東京芸術祭 2024」

日本を代表する現代演劇を楽しむツアー開催決定！ “発見！日本の現代舞台芸術ツアー in Tokyo”

東京芸術祭実行委員会は、2024年9月に開催する「東京芸術祭 2024」において、現代の舞台芸術作品と日本を代表する劇場である東京芸術劇場の魅力が国外へ発信するために、国外から来訪する方や、英語、韓国語、中国語などを母語とする方々を対象とした以下の特別なツアーを実施します。このツアーを通じて、国際的な都市型の舞台芸術祭として、日本の現代舞台芸術のコンテンツ力を国外に発信し、東京芸術祭及び日本の舞台芸術鑑賞を目的としたインバウンドの増加を目指します。

①東京芸術劇場 Presents 木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』を巡る 東京シャトルツアー（鑑賞チケット付き）

本作の舞台となった江戸の名所やゆかりの地をシャトルバスで巡り、鑑賞をより楽しむために歴史的な文脈や時代背景などを紐解くガイドツアー

日程：9月16日（月・祝）、23日（月・休）、29日（日）各日9:00～ | 英語

②“見どころ解説”レクチャー付き 観劇ツアー

プログラム観劇の前に、作品の内容やあらすじだけでなく、作品の背景やコンセプト、また東京芸術祭や東京芸術劇場などについて解説するレクチャーを行います。観劇では英語字幕（ポータブル字幕機又はオープン字幕）をご用意しています。

●東京芸術劇場 Presents 木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』

日程：9月17日（火）、20日（金）、26日（木）各回12:00～ | 英語

●チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド『リビングルームのメタモルフォーシス』

日程：9月25日（水）、28日（土）各回18:00～ | 英語

●円盤に乗る派『仮想的な失調』

日程：9月19日（木）18:00～ | 英語

●コンドルズ・野外パフォーマンス『Let's Turn The Table』

日程：9月21日（土）、22日（日）各回15:00～ | 英語、韓国語、中国語



③東京芸術劇場 探訪ツアー

舞台芸術に関する紹介だけでなく、国内を代表する建築家・芦原義信が設計した東京芸術劇場の魅力をお伝えする劇場探訪ツアー

日程：9月27日（金）16:00～ | 英語・中国語、29日（日）10:00～ | 英語・韓国語

※全ツアー要web予約（東京芸術祭 2024 特設サイトおよび OTA等で取り扱い予定）

※ツアー参加者の方に特製ノベルティをプレゼント

その他の取り組み：東京芸術祭ファームの公開レクチャーやプレゼンテーション、シンポジウムは日英対応（逐次通訳）で実施。また、本年はインフォメーションセンター（東京芸術祭ひろば）にて、英語等対応可能なスタッフを配置し、芸術祭に関する情報の多言語提供を行います。

発見！日本の現代舞台芸術ツアー in Tokyo（東京芸術祭 2024 特設サイト内）▶ <https://tokyo-festival.jp/2024/discover-tour>

主催：東京芸術祭実行委員会（公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都）、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

委託：令和6年度日本博2.0事業（委託型）

協賛：アサヒグループジャパン株式会社

後援：豊島区

ツアー制作・運営：株式会社JTBコミュニケーションデザイン

【東京芸術祭とは】

東京芸術祭は、東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指し、毎年秋に豊島区池袋エリアを中心に開催している都市型総合芸術祭です。東京の文化の魅力を分かりやすく見せると同時に、東京における芸術文化の創造力を高めることを目標とし、今年で9年目を迎えます。

【開催概要】

名称：東京芸術祭 2024

会期：2024年9月15日（日）～29日（日）

会場：東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE（池袋西口公園野外劇場）

主催：東京芸術祭実行委員会（公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都）、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

委託：令和6年度日本博2.0事業（委託型）

協賛：アサヒグループジャパン株式会社

協力：豊島区、西武鉄道株式会社、東武鉄道株式会社

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

ARTS COUNCIL TOKYO

東京都

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

Asahi GROUP

アサヒグループジャパン株式会社

●ツアー予約等に関するお問い合わせ

株式会社JTBコミュニケーションデザイン E-mail: tokyo-festival2024@itbcom.co.jp

●事業に関するお問い合わせ

東京芸術祭実行委員会事務局 TEL: 050-1746-0996（平日10:00～18:00）

●広報に関するお問い合わせ

東京芸術祭実行委員会事務局広報 E-mail: press@tokyo-festival.jp TEL: 050-1751-9480（平日10:00～18:00）

▼東京芸術祭 公式サイト

<https://tokyo-festival.jp/>

ツアー詳細

①木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』を巡るシャトルツアー（鑑賞チケット付き）

『三人吉三廓初買』の舞台となった名所やゆかりの寺をシャトルバスで巡った後に、東京芸術劇場で作品を観劇するツアー。作品が書かれた歴史的な文脈や、江戸時代の文化背景を体験してからの観劇は、より深い感動を呼ぶことでしょう。

催行日程：9月16日（月・祝）、23日（月・休）、29日（日）
9:00出発／13:00演目開演（全3幕、休憩2回）／18:00頃終了予定
所要時間：約9時間（シャトルツアー約2時間、昼食休憩1.5時間、入場～上演時間約5.5時間）
集合場所：JR 両国駅 西口
ツアー料金：15,000円（税込）
※木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』チケット料金（一般S席）を含む。
※シャトル車両および費用は主催者負担。
※ツアー料金に含まれないもの：集合場所までの移動費用、昼食代（昼食会場のみご案内）。
ツアー使用言語：英語
上演言語：日本語（英語ポータブル字幕機貸し出しあり）

②“見どころ解説”レクチャー付き 観劇ツアー

観劇の前に、作品の内容やあらすじだけでなく、作品の背景やコンセプト、また東京芸術祭や東京芸術劇場などについて詳しく解説するレクチャー。

◆東京芸術劇場 Presents 木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』

歌舞伎演目を現代的な演出で上演する日本有数の有名カンパニー木ノ下歌舞伎が、「当今のシェイクスピア（我が国のシェイクスピア）」（©坪内逍遙）とも評された歌舞伎作者のレジェンド・河竹黙阿弥が幕末の動乱期に執筆した、江戸を舞台にした最高傑作を上演。

催行日程：9月17日（火）、20日（金）、26日（木）
12:00ツアー開始／13:00演目開演（全3幕、休憩2回）／18:00頃終了予定
所要時間：約6時間（レクチャー約30分、入場～上演時間約5.5時間）
集合場所：東京芸術劇場
ツアー料金：11,000円（税込）
※木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』チケット料金（一般S席）を含む。
レクチャー使用言語：英語／英語の演目資料配布
上演言語：日本語（英語ポータブル字幕機貸し出しあり）

◆チェルフィッチュ×藤倉大 with アンサンブル・ノマド『リビングルームのメタモルフォーシス』

東京芸術劇場の次期芸術監督、東京芸術祭の次期アーティスティック・ディレクターに就任する、日本を代表するアーティスト岡田利規が率いるカンパニー、チェルフィッチュ。その最新作として、ウィーン芸術週間（Wiener Festwochen）からの委嘱により創作された本作は、現代音楽の作曲家として著名な藤倉大とのコラボレーション音楽劇。アンサンブル・ノマドによる現代音楽の生演奏とユニークで文学的な演劇の融合をお楽しみください。

催行日程：9月25日（水）、28日（土）
18:00ツアー開始／19:00演目開演／20:30頃終了予定
所要時間：約2時間30分（レクチャー約30分、入場～上演時間約2時間）
集合場所：東京芸術劇場
ツアー料金：一般7,500円（税込）、29歳以下5,000円（税込）
※チェルフィッチュ『リビングルームのメタモルフォーシス』チケット料金（自由席）を含む。
レクチャー使用言語：英語／英語の演目資料配布
上演言語：日本語（舞台上に英語字幕表示）

◆円盤に乗る派『仮想的な失調』

次世代を担う若手の演劇プロジェクト「円盤に乗る派」が贈る『仮想的な失調』は、2022年初演時に大好評を博した代表作。日本の伝統芸能である狂言『名取川』と能『船弁慶』を基に、現代のアイデンティティを問い直す。幽霊、自我の喪失、顔の見えない欲望など、すべてが仮想的な時代における物語の“失調”を描いた見逃せない一作。

催行日程：9月19日（木）18:00ツアー開始／19:00演目開演／20:30頃終了予定
所要時間：約2時間30分（レクチャー約30分／入場～上演時間約2時間）
集合場所：東京芸術劇場
ツアー料金：一般4,500円（税込）、29歳以下3,500円（税込）
※円盤に乗る派『仮想的な失調』のチケット料金（自由席）を含む。
レクチャー使用言語：英語／英語の演目資料配布
上演言語：日本語（舞台上に英語字幕表示）

◆コンドルズ・野外パフォーマンス 『Let's Turn The Table』

近藤良平が主宰する、日本を代表するダンス集団「コンドルズ」が、GLOBAL RING THEATREで野外パフォーマンスを上演！東京の街と観客を巻き込み、ダンスの波が押し寄せるみんなで楽しむパフォーマンスをお届けします。テーブルや椅子、キッチンカーが並ぶ憩いのスペースで、ワクワクするお祭り感と共に、コンドルズの凝縮したエンターテインメントをお楽しみください。

催行日程：9月21日（土）、22日（日）

15:00ツアー開始／16:00演目開演／16:30頃終了予定

所要時間：約1時間30分（レクチャー約30分、入場～上演時間約60分）

集合場所：東京芸術劇場

ツアー料金：1,500円（税込）

※未就学児無料。

レクチャー使用言語：英語、韓国語、中国語／各言語の演目資料配布

上演言語：日本語

③東京芸術劇場 探訪ツアー

東京・池袋の駅前にある東京芸術劇場。「劇場探訪ツアー」では、ツアーガイドと各言語の通訳案内士の案内で劇場内を巡り、ホールの特徴や建物の歴史などを、裏話も交えてご紹介します。客席で公演を観るだけでは味わえない劇場の様々な魅力を、ツアーガイドと一緒に探してみませんか？

催行日程：9月27日（金）16:00 | 英語・中国語、29日（日）10:00 | 英語・韓国語

所要時間：約60分

集合場所：東京芸術劇場

ツアー料金：500円（税込）

【東京芸術劇場とは】

東京芸術劇場は、都民の芸術文化の振興と国際化を推進する拠点として、1990年10月に開館しました。日本を代表する建築家・芦原義信によってデザインされた特徴的な外観は、西池袋のランドマークとして親しまれています。2012年には全面改修を行い、現在も多くのお客様が訪れています。

<注意事項>:

来場前に必ず各公演webページ内の注意事項と最新情報をご確認ください。
ツアー中のお荷物のお預かりをご希望の方は、申し込み時にお問い合わせください。
ツアーのお申し込み画面に記載の注意事項等を必ずご一読ください。

芸劇オータムセレクション

東京芸術劇場 Presents 木ノ下歌舞伎『三人吉三廓初買』

さんじん きちさくわのはつがい

東京芸術劇場 プレイハウス

2024年9月15日（日）～29日（日） *休演日あり

作：河竹黙阿弥

監修・補綴：木ノ下裕一

演出：杉原邦生 [KUNIO]

出演：田中俊介、須賀健太、矢部昌暉／藤野涼子、小日向星一、深沢萌華

武谷公雄、高山のえみ、山口航太、武居 卓、田中佑弥、緑川史絵

川平慈英／緒川たまき、眞島秀和

スウィング：佐藤俊彦、藤松祥子



撮影：設楽光徳

木ノ下歌舞伎×杉原邦生のタッグの集大成。

疾風怒濤、5時間の一大エンターテインメントがついに大舞台へ！

木ノ下歌舞伎『三人吉三』9年ぶりの再演！2014年初演、2015年の再演（芸劇eyes）では読売演劇大賞2015年上半期作品賞部門のベスト5に選出された代表作が、タイトルを『三人吉三廓初買』に改め、新たな顔ぶれで大舞台に登場する。

数奇な運命に翻弄される若者たち——和尚、お坊、お嬢の“三人吉三”と、現行歌舞伎ではカットされている“商人と花魁の恋”がダイナミックに交錯する鮮烈な群像劇。「当今のシェイクスピア（我が国のシェイクスピア）」（©坪内逍遙）とも評された歌舞伎作者のレジェンド・河竹黙阿弥による最高傑作の、いまや幻となったオリジナル版の全貌を見られるのはこのキノカブ版のみ。幕末の動乱期に執筆され、今もなお愛されつづける物語が、同じく変化と激動の現代（いま）を撃つ。これぞ、木ノ下歌舞伎による『三人吉三』の決定版！

木ノ下歌舞伎

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より活動を展開している。

木ノ下裕一

木ノ下歌舞伎 主宰。

1985年和歌山市生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『三人吉三』『娘道成寺』『義経千本桜—渡海屋・大物浦—』など。

2016年に上演した『勸進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。第38回（令和元年度）京都府文化賞奨励賞受賞。令和2年度京都市芸術新人賞受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。

渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』（2018）の補綴を務めるなど、古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。2024年からまつもと市民芸術館（長野）の芸術監督団長。

<https://kinoshita-kabuki.org/>

杉原邦生

演出家、舞台美術家。KUNIO主宰。

2004年、プロデュース公演カンパニー“KUNIO”を立ち上げる。これまでのKUNIOの作品に『エンジェルス・イン・アメリカ 第1部「至福千年紀が近づく」』、第2部『ペレストロイカ』、『Q1』バージョンを新訳で上演した『ハムレット』、上演時間10時間に及ぶ大作『グリークス』、大学の恩師でもある太田省吾作品を鮮烈に蘇らせた『更地』などがある。近年の主な演出作品は、PARCO PRODUCE 2024『東京輪舞』、KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『SHELL』、歌舞伎座『新・水滸伝』、ホリプロ『血の婚礼』、COCOON PRODUCTION 2022 / NINAGAWA MEMORIAL『パンドラの鐘』、さいたまゴールド・シアター最終公演『水の駅』など。第36回京都市文化奨励賞受賞。

<https://kunio.me>

芸劇オータムセレクション

チェルフィッチュ× 藤倉大 with アンサンブル・ノマド
『リビングルームのメタモルフォーシス』

東京芸術劇場 シアターイースト

2024年9月20日（金）～29日（日）*24日（火）休演

作・演出：岡田利規 / 作曲：藤倉大

出演：青柳いづみ、朝倉千恵子、川崎麻里子、椎橋綾那、矢澤 誠、渡邊まな実

演奏：アンサンブル・ノマド

岡田利規と藤倉大の初コラボレーションによる“音楽劇”

ウィーン芸術週間の委嘱により2023年5月に世界初演を迎えた本作が、ついに日本初演！

これは演劇の上演か、音楽の演奏会か——

フィクショナルな劇空間に音の粒子が混ざり合う“音楽劇”

圧倒的なスケールの世界が観客の目前に現れる

チェルフィッチュ

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立。2007年クンステン・フェスティバル・デザール（ブリュッセル、ベルギー）にて『三月の5日間』を上演、初めての国外進出を果たす。以降、アジア、欧州、北米、南米あわせて90都市以上で作品を上演し続けている。フェスティバル・ドートンヌ・パリ（フランス）、ウィーン芸術週間（オーストリア）など世界有数のフェスティバル・劇場の委嘱および国際共同製作による創作も多数。

近年は、スクリーンに投影された映像が人の感覚に引き起こす作用によって展示空間を上演空間へと変容させる試み〈映像演劇〉を舞台映像作家・山田晋平氏とともに始動、2018年に演劇公演／展覧会『渚・臉・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉』（熊本市現代美術館）を発表。2021年からは、「ノン・ネイティブ日本語話者との演劇プロジェクト」を始動し、日本語を母語としない俳優を対象としたワークショップを実施、2023年に演劇作品『宇宙船イン・ビトゥーン号の窓』を発表。

岡田利規

演劇作家・小説家・チェルフィッチュ主宰。その手法における言葉と身体との独特な関係が注目され、2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞、同年7月『クーラー』で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005一次代を担う振付家の発掘一」最終選考会に出場。2013年に演劇論集『遊行 変形していくための演劇論』（河出書房新社）を刊行。

2016年からはドイツの公立劇場レパートリー作品の作・演出も継続的に務める。2020年『掃除機』（ミュンヘン・カンマーシュピール）および2022年『ドーナ（ッ）ツ』（ハンブルク、タリア劇場）でベルリン演劇祭（ドイツ語圏演劇の年間における“注目すべき10作”）に選出。

タイの現代小説をタイの俳優たちと舞台化した『プラータナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞・選考委員特別賞を受賞。能のナラティヴの構造を用いた『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』（KAAT神奈川芸術劇場）で第72回読売文学賞・戯曲・シナリオ賞及び第25回鶴屋南北賞受賞。2021年には『夕鶴』（全国共同制作オペラ）で歌劇の演出を手がけた。

小説家としては、2007年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』（新潮社）を刊行。第2回大江健三郎賞受賞。2022年に『プロッコリーレボリューション』（新潮社）で第35回三島由紀夫賞および第64回熊日文学賞を受賞。

藤倉大

大阪府生まれ。15歳で単身渡英しJ.ベンジャミンらに師事。これまでに数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。オペラの国際評価も高く、2015年にシャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱による《ソラリス》を世界初演。20年に自身3作目のオペラ《アルマゲドンの夢》が新国立劇場で世界初演された。17年から東京芸術劇場で開催の「ボンクリ・フェス」アーティスティック・ディレクターを務める。23年に4度目となる尾高賞を受賞。近年の活動はリモート演奏のための作品発表や、テレビ番組の作曲依頼等多岐に渡る。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルやMinabel Recordsから、楽譜はリコルディ・ベルリンから出版。

アンサンブル・ノマド

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって結成。「NOMAD（遊牧、漂流）」の名にふさわしく時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されている。これまでにサントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」、及び「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞。2000年オランダの「ガウデアム音楽週間」を皮切りに南米やヨーロッパ、韓国や中国など世界各地の現代音楽祭に招かれている。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、各所で訪問コンサートやワークショップを行っている。これまで近藤譲や藤倉大、E.バスケスなどの作品集やオリジナル・アルバム「めぐる—Meguru」など20枚のCDをリリース。2015年発売の「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。公式ウェブサイト：www.ensemble-nomad.com/



宣伝美術：岡崎真理子（REFLECTA, Inc.）

円盤に乗る派『仮想的な失調』

東京芸術劇場 シアターウエスト

2024年9月19日（木）～22日（日・祝）

演出：カゲヤマ气象台*、蜂巢もも（グループ・野原）

脚本：カゲヤマ气象台*

出演：辻村優子、鶴田理紗（白昼夢）、橋本 清（ブルーノプロデュース/y/n）

畠山 峻*（PEOPLE太）、日和下駄*

*=円盤に乗る派プロジェクトチーム



『仮想的な失調』（2022）撮影：濱田 晋

幽霊、自我の喪失、顔の見えない誰かの欲望……すべてが仮想的な時代における、物語の”失調”

『仮想的な失調』は2022年に初演され、大好評を博した《円盤に乗る派》の代表作。

本作の物語は二つの古典作品を下敷きにしている。ひとつは、自分の名前すら忘れてしまう坊主を主人公とした狂言「名取川」。もうひとつは、源義経の西国落ちを題材にとり、義経の愛妾・静御前とかつての敵・平知盛の怨霊を一人二役で演じる能「船弁慶」。常に複数のSNSを使い分けながら、さまざまなアイデンティティを駆使する現代の生活に向けて、これらの物語の新たな語り直しを試みる。

円盤に乗る派

「複数の作家・表現者が一緒にフラットにいられるための時間、あるべきところにいられるような場所」を作るための演劇プロジェクトとして2018年にスタート。劇場を訪れ、帰っていくまでに体験する全てを「演劇」として捉え、冊子の発行やさまざまなイベントの開催など、上演作品の発表だけにとらわれない活動を展開している。2021年にはコミュニティとしての共同アトリエ「円盤に乗る場」を設立し、表現にまつわる新しいつながりを探究している。

現在のメンバーはカゲヤマ气象台（劇作家・演出家・代表）、日和下駄（俳優）、畠山峻（俳優）、渋谷すず（アドバイザー/ウォッチャー）の4人。

<https://noruha.net/>

ダンス

野外公演

参加型野外パフォーマンス

コンドルズ・野外パフォーマンス

『Let's Turn The Table』

GLOBAL RING THEATRE 〈池袋西口公園野外劇場〉

2024年9月21日（土）、22日（日・祝）

構成・振付・演出：近藤良平

出演：コンドルズ 公募出演者 ほか



©HARU

GLOBAL RING THEATREに集う人、憩う人を巻き込んで、みんなで動き、みんなで鳴らす。

ダンスの波が押し寄せる！みんなで楽しむダンスパフォーマンス。

これまで池袋で地域を巻き込み、さまざまなパフォーマンスを行ってきたコンドルズが、池袋、GLOBAL RING THEATREに久々に登場！会場には休日を楽しんでもらう憩いのスペースとしてテーブルや椅子、キッチンカーが並ぶ。ワクワクするお祭り感の中、コンドルズが繰り広げるギュッと凝縮したエンターテインメントをお楽しみあれ。

近藤良平

コンドルズ主宰／振付家・ダンサー

ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。第67回横浜文化賞受賞。

TBS系列『情熱大陸』、NHK総合『地球イチバン』等出演。NHK教育『からだであそぼ』内「こんどうさんちのたいそう」、NHK総合『サラリーマンNEO』内「テレビサラリーマン体操」などで振付出演。NHK連続テレビ小説『てっちゃん』オープニング振付も担当。NHK大河ドラマ『いだてん』ダンス指導、「私立恵比寿中学」振付など、映画、TV、PV、CMなど、振付多数。

コンドルズ

世界30ヶ国以上で招聘公演！ニューヨークタイムズ紙絶賛！NHKホールを即日完売＋超満員＋追加公演！近藤良平が主宰する男性のみ学ラン姿でダンス×生演奏×人形劇×パフォーマンス×映像×コントを展開する日本を代表するダンス集団！映画、TV、MV、CMなどに振付、出演多数。近年では、障がい者、高齢者、子どもを対象にした舞台芸術活動にも注力し、共生社会の実現に向けて果敢に挑戦中！